



2022年3月9日

各 位

会 社 名 **株式会社 MORESCO**
代表者名 代表取締役社長 両角元寿
(コード番号 5018 東証第一部)
問合せ先 取締役上席執行役員 藤本博文
TEL 078 - 303 - 9220

サステナビリティ基本方針の制定に関するお知らせ

当社は、2022年3月9日開催の取締役会において、下記のとおりサステナビリティ基本方針を制定することを決議いたしましたのでお知らせいたします。また、あわせて当社のサステナビリティ推進体制、マテリアリティおよび今後の取り組みについてお知らせいたします。

記

1. サステナビリティ基本方針およびその目的

当社は、次のとおり「MORESCO グループサステナビリティ基本方針」を制定いたしました。サステナビリティ基本方針は、サステナビリティ課題への取り組み等を検討するにあたって、当社の役職員が大切にすべき価値と目指す目標を示したものです。

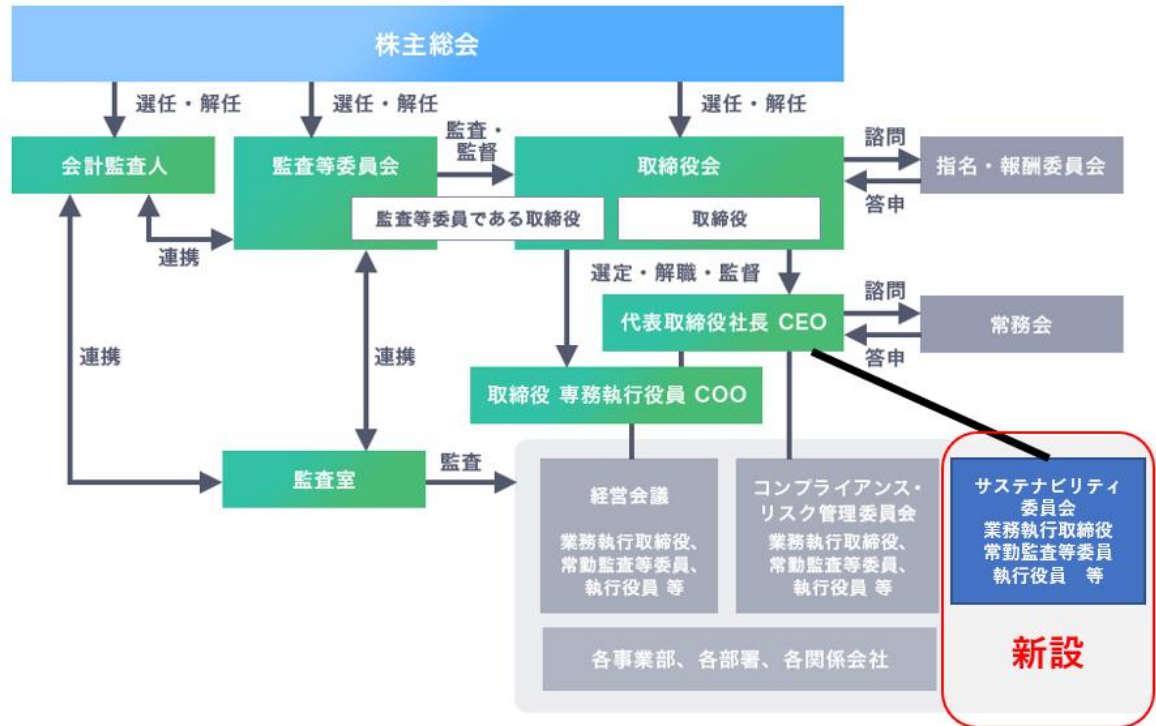
MORESCO グループサステナビリティ基本方針

MORESCO グループは経営理念にある境界領域のスペシャリストとして、「持続可能社会の実現」と「中長期的な企業価値の向上」を基本に事業を運営することによりステークホルダーの信頼を高めるとともに、社会課題や環境課題の解決に貢献するべく、サステナビリティ活動を積極的に推進します。

2. サステナビリティ推進体制

代表取締役社長（CEO）を委員長とするサステナビリティ委員会を新設いたしました。2022年3月1日に新たに設置したサステナビリティ推進室が、当該委員会の運営および当社グループのサステナビリティ活動を推進いたします。サステナビリティ委員会の設置は、当社グループにおけるサステナビリティに関する方針および計画の策定と推進ならびに関連するリスクと事業機会の選定および監視を図ることを目的としています。取締役会は、サステナビリティ委員会からの報告に基づき、当社のサステナビリティ課題に関わるリスクと機会、必要に応じた対策を、適時的確に管理・監督してまいります。

MORESCOグループ コーポレート・ガバナンス体制



3. マテリアリティについて

2021 年、当社のステークホルダーであるグループ社員、お客様、原材料購入先、主要株主、当社拠点の存在する自治体等の皆様にアンケートを実施し、当社の事業の重要事項を皆様のご意見を踏まえた上で選別し、事業部門と検討の上、次のような7つのマテリアリティを特定いたしました。

	マテリアリティ	関連するSDGs	目指す取り組み
事業活動に関する重要課題	環境負荷低減の実現	7 持続可能なエネルギー、12 持続可能な消費と生産、13 気候変動、6 清潔な水と衛生	<ul style="list-style-type: none"> より長寿命で、廃棄物や環境負荷が少ない製品の開発 潤滑油や容器等のリサイクル推進 生産プロセスにおけるCO2排出量、廃棄物、排水量の抑制 環境に配慮した製品供給 再生可能エネルギーの推進、エネルギーの省力化
	革新的な製品、サービスの開発	9 持続可能な産業と革新、3 健全な働き場	<ul style="list-style-type: none"> 「環境分野」、「情報関連分野」、「エネルギーデバイス分野」も中心とした既存分野での技術革新に貢献 新たな分野の開拓
	技術革新による新たな価値創造と生産性の向上	9 持続可能な産業と革新、8 持続可能な産業と革新、12 持続可能な消費と生産	<ul style="list-style-type: none"> 新たなビジネスモデルの構築 デジタル技術も活用し、生産効率の最適化と環境負荷の最小化も実現 事故やトラブルの防止や労働負担軽減による安心・安全・快適な労働環境の実現
	サプライチェーン強靱化による持続的な安定供給	11 持続可能な都市とコミュニティ、12 持続可能な消費と生産、8 持続可能な産業と革新	<ul style="list-style-type: none"> 原材料の安定調達 人権や原料由来も考慮した調達 供給体制の強化 BCP体制整備の加速
	パートナーシップの強化	17 持続可能なパートナーシップ	<ul style="list-style-type: none"> 研究機関等との共同研究により、イノベーションも創出 材料メーカーや販売代理店等とパートナーシップも結び、共通課題も達成 地域社会との価値共創とCSR活動の強化
社内基盤に関する重要課題	多様な人材の育成と登用による人的資本の強化	4 質の高い教育をみんなに、5 女性活躍、8 持続可能な産業と革新	<ul style="list-style-type: none"> グローバルやデジタル分野などで活躍できる人材の育成 女性人材の登用 人的資本の強化・成長も促す評価制度や研修制度
	心身ともに充実でき、人権を重視した働き方の実現	3 健全な働き場、8 持続可能な産業と革新、16 平和と公正	<ul style="list-style-type: none"> ワークライフバランスの向上 社員の健康促進 DE&I（多様性・公平性・包摂性）重視の企業文化 人権も重視した職場環境の整備 ハラスメントのない職場 業務プロセスの見直し

4. 今後の取り組みについて

「持続可能社会の実現」と「中長期的な企業価値の向上」に向けて、当社の経営理念に立ち返り、将来のありたい姿の実現に向け事業を推進してまいります。また、カーボンニュートラル、地球温暖化対策等、当社のサステナビリティ関連のリスクと機会を特定、その戦略を策定・実行し、TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）提言への賛同や、同提言に準じた必要な情報開示を行ってまいります。

以 上